

# 螢流の森 だより

ロックエンゼルの会

代表 長坂 健司

第 9 9 号

平成 3 1 年 2 月 1 5 日

## 寒さ厳しい螢流の森の冬

寒空にゆったり輪をかくノスリかな

1月下旬から2月初旬にかけて、ホタルの里の石清水池に薄氷が張るほどとても寒い日が続いていました。池の金魚と鯉は、比較的水温の高い方の湧き水で暖を取っているのでしょうか、出口付近でくっついていました。公園の桜の花芽も寒風の中で耐えながら、春を待っているかのようです。

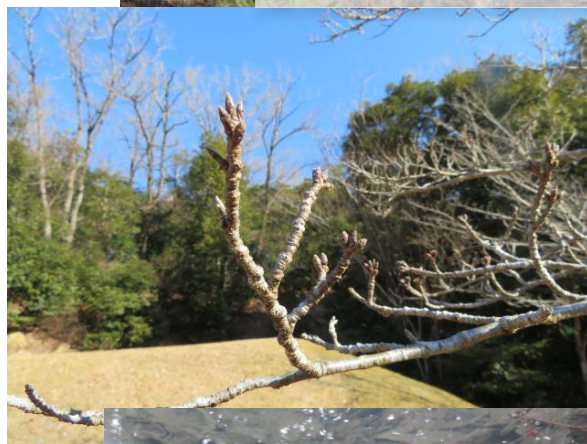


町内北口坂から望む三河富士（1月27日撮影）



### 身近な生き物（三）ハシボソガラス

今月はハシボソガラスを取り上げました。茅生には、ハシボソガラスとハシブトガラス両方とも住んでいますね。違いはクチバシ、細いのがハシボソ、太いのがハシブトガラスです。声も違います、カアカアと鳴くのがハシブト、ガアガアがハシボソです。茅生では、どちらかといえばハシブトが多いかな。



寒風 中 桜  
花芽（二月二十九日）



↑ 湧き水の出口に身を寄せ  
る金魚と鯉



← 石清水池にも薄氷(1月30日)